

2019年度（平成31年度） 看護の質向上委員会目標

2019年2月作成

<重点目標>

1. 看護管理者としての知識・技術を習得し部署の運用に活かすことで、看護部全体の質を上げることができる
2. 看護管理者が不安や悩みを相談できる体制を構築し、自信をもって看護管理が遂行できる
3. 看護管理者がポートフォリオを用いた目標管理の方法を理解し、効果的に運用することができる

1. 最高の看護・介護が発揮できる職場環境を構築することができる
 - 1) 離職防止・永年勤続・入職促進の取り組みをする（働きやすい環境をつくる）
 - (1) 有給休暇取率向上を目指す
 - (2) 年1回のリフレッシュ休暇取得を目指す
 - (3) ライフサイクルに応じた勤務をつくる
 - (4) 不平・不満を溜めない組織を目指す
 - ① 部署を越えて相談できる環境をつくる
 - ② ご意見箱を活用する
 - ③ 看護職員満足度調査を実施する
 - (5) 新入職者を看護部全体で育てる環境をつくる
 - (6) 職員間で注意しあえる環境をつくる
 - 2) やりがいが感じられる職場環境をつくる
 - (1) 全員が能力評価基準を達成する
 - (2) ポートフォリオを活用した目標管理ができる
 - 3) 管理者の質を上げることができる
 - (1) 管理者として能力拡大を目指し、偏りのない知識習得ができる
 - (2) 常にリスクを意識した看護管理を行うことができる
 - (3) ポートフォリオを活用し、個々の目標達成に向けて支援することができる
2. 患者・家族に寄り添った看護を提供することができる
 - 1) 患者・家族からの意見・苦情・相談・お褒めのことば等を検討する
 - (1) 入院患者満足度調査
 - (2) 外来患者満足度調査
 - (3) ご意見箱（お褒めの言葉を含む）
 - (4) 患者や家族等からの意見（お褒めの言葉を含む）
 - (5) 職員からの意見
 - 2) 看護・介護の接遇評価を行う
 - (1) 接遇研修
 - (2) 倫理研修
 - (3) 職場風土アンケート（業務委員会実施）